

会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回茨木市環境審議会地球温暖化対策推進部会
開催日時	令和元年8月23日(金) 午前 ・午後) 10時00分 開会 午前 ・午後) 12時00分 閉会
開催場所	男女共生センター ローズ WAM 4階 404号室
議長	玉井 昌宏 (大阪産業大学工学部都市創造工学科 教授)
出席者	久米 辰雄、天保 好博
欠席者	三上 雅弘、三輪 信哉
事務局職員	牧原環境政策課長、守口推進係長、福里職員
開催形態	公開
議題(案件)	(1) 平成30年度地球温暖化対策実行計画の進捗状況について (2) その他(事務局より報告)
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・名簿 ・平成30年度の進捗状況について・・・資料1 ・平成30年度いばらきエコプラットホームのまとめ・・・資料2

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
玉井部会長	<p><開会> 事務局より挨拶 会議の公開、議事録の取扱いについて</p> <p>それでは、会議次第に沿って議事を進めていく。本日の内容は報告が主になっている。では、資料1の「平成30年度の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
玉井部会長	<p><議題> (1)平成30年度地球温暖化対策実行計画の進捗状況について事務局から説明</p> <p>以上について、意見や質問はないか。</p>
久米委員	<p>中期目標に対して達成が厳しい状況にあることについて現状を説明することが必要だ。目標達成のために市として具体的な見解を持っておく必要がある。</p> <p>各部門の100万円当たりのCO2排出量について、要因分析に基づく具体的な対策・指導をいま一步進めてほしい。</p> <p>啓発については市民のインセンティブを高めるような取組を考えてはどうか。</p>
事務局	<p>市民のインセンティブを高めることについては、環境政策課で行っている「いばらき環境(エコ)ポイント」事業などを活用し、積極的に取り組んでいく。</p>
玉井部会長	<p>今回1人あたりの温室効果ガス排出量が増加したことについて、原因分析が必要である。</p>
天保委員	<p>近年の残暑の長さや、熱中症予防啓発などが節電意識の変化に影響しているのではないか。</p>
久米委員	<p>夏の暑さ、冬の寒さが厳しくなっている印象も受ける。その中で、いかにピークシフトしていくかが重要だ。</p> <p>他の自治体で実施している企業向けの取組を参考にしてほしい。</p> <p>企業の省エネ診断や指導を行うなど、具体的な方法を考えていく必要がある。</p>
事務局	<p>昨年度から市の公共施設を対象に省エネ診断を行っており、継続してい</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
久米委員	<p>く。</p> <p>そのような市の取組も資料に掲載してはどうか。 省エネ診断に係る企業の負担を減らし、件数を増やしてくような施策も盛り込んでほしい。</p>
天保委員	<p>空調使用の削減などは、お客さんのためにクーラーを効かせたりするサービス業には厳しい。</p>
久米委員	<p>お金をかけずに取り組めることもある。省エネを進めることで経費削減になり企業にもメリットがある。</p>
玉井部会長	<p>市の事務事業におけるエネルギー消費量は増加傾向とは言えない。気温だけに要因を求めるのではなく、分析を行うべき。</p>
事務局	<p>気温以外の要因についても分析し、対策を考える必要がある。 遮熱舗装を導入している自治体もある。効果はあるが、費用がかかるため難しい側面がある。安価なもので啓発していけるよう検討する。</p>
久米委員	<p>遮熱塗料は様々な製品が開発されており、実験データも出ていて、効果が期待できる。</p>
事務局	<p>遮熱塗料以外に、街路樹による日陰作りなど自然を生かした取組も有効である。</p>
久米委員	<p>取組だけでなく、市民向けにわかりやすく、目に付く場所でこまめに広報・PRすることが大切だ。体験してもらい、市民を巻き込んで、成果につなげてほしい。</p>
玉井部会長	<p>現行の実行計画の改訂が必要ではないか。 現在の指標はCO2排出量だが、排出係数に左右される。</p>
事務局	<p>これまでの温暖化対策は「緩和策」だったが、今後は「適応策」をふまえて、区域施策編改定時に盛り込めるよう検討していく。</p>
天保委員	<p>森林ボランティアについて、高齢化が課題となっている。</p>
久米委員	<p>若い人が増えることも大切だが、高齢のボランティアも活躍できるようサポートが必要だ。森林の保全は、地滑り等を防ぐために非常に重要であ</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
天保委員	る。 自動車分担率の根拠となる市域全体の移動数とはどのように算出しているのか。
事務局	出展と調査方法を確認し、記載する。
玉井部会長	続いて、資料2について事務局より説明をお願いします。
玉井部会長	(2)「平成30年度エコプラットホームのまとめ」について事務局から説明
玉井部会長	以上について、意見や質問などないか。
玉井部会長	エコプラットフォームは部会の下組織なのか。位置付けはどうなっているのか。
事務局	温暖化対策の一環としての自由な意見交換の重要な場である。部会の下組織ではない。
玉井部会長	活動の報告は、部会以外ではどのようにしているのか。
事務局	市ホームページに公開している。
玉井部会長	環境政策の中でのプラットホームの位置付け、部会・審議会との関係を再確認し、どのように活動していくか考えたほうがいい。
久米委員	プラットホーム参加者の継続のインセンティブを高める方法も検討してほしい。
玉井部会長	他に何か意見等はあるか。無いようなのでこれで閉会する。
	<閉会>